目次　抜粋

◇第1号（明治22年5月10日）
『老女江島　生島新五郎　配所の花』(1)　放牛舎 桃林＜講談＞
『本阿弥紀行　姨捨正宗』(1)　伊東 燕尾＜講談＞
『沖縄の飯倩匙娘　九州の博多小僧　浪枕巡島奇談』(1)　松林 伯円＜講談＞
『成田小僧』　三遊亭 円遊＜落語＞
『花曇中も宵月』(1)　三遊亭 円生＜落語＞
『大久保曽我誉廼仇討』(1)　春錦亭 柳桜＜落語＞
『南無阿弥陀仏』(1)　紅葉 山人＜小説＞

◇第2号（明治22年5月20日）
『大久保曽我誉廼仇討』(2)　春錦亭 柳桜＜落語＞
『本阿弥紀行　姨捨正宗』(2)　伊東 燕尾＜講談＞
『乾物箱』　三遊亭 円遊＜落語＞
『義士伝』　五明楼 玉輔＜落語＞
『袖ヶ浦浪路の水髪』(1)　桂 文楽＜落語＞
『老女江島　生島新五郎　配所の花』(2)　放牛舎 桃林＜講談＞
『花曇中も宵月』(2)　三遊亭 円生＜落語＞
『沖縄の飯倩匙娘　九州の博多小僧　浪枕巡島奇譚』(2)　松林 伯円＜講談＞
『南無阿弥陀仏』(2)　紅葉 山人＜小説＞

◇第3号（明治22年6月5日）
『本阿弥紀行　姨捨正宗』(3)　伊東 燕尾＜講談＞
『袖ヶ浦浪路の水髪』(2)　桂 文楽＜落語＞
『沖縄の飯倩匙娘　九州の博多小僧　浪枕巡島奇談』(3)　松林 伯円＜講談＞
『老女江島　生島新五郎　配所の花』(3)　放牛舎 桃林＜講談＞
『鼻毛』　三遊亭 円遊＜落語＞
『花曇中も宵月』(3)　三遊亭 円生＜落語＞
『大久保曽我誉廼仇討』(3)　春錦亭 柳桜＜落語＞
『落語』(1)　三遊亭 円朝＜落語＞
『南無阿弥陀仏』(3)　紅葉 山人＜小説＞

◇第4号（明治22年6月20日）
『沖縄の飯倩匙娘　九州の博多小僧　浪枕巡島奇談』(4)　松林 伯円＜講談＞
『大久保曽我誉廼仇討』(4)　春錦亭 柳桜＜落語＞
『以徳報仇』(1)　伊東 燕尾＜講談＞
『老女江島　生島新五郎　配所の花』(4)　放牛舎 桃林＜講談＞
『義士伝』三遊亭 円遊＜落語＞
『一口話』三遊亭 円朝＜落語＞
『南無阿弥陀仏』(4)　紅葉 山人＜小説＞

◇第238号（明治3
『多勢に無勢』　三
『幽霊車』　三遊亭
『蚊帳の紐』　桂 文
『江戸の花纒の誉』
『関取二代鑑』(3)
『慷慨美人』(4)
『日蓮大士』(7)
『吉原八景』(7)
『北京陥落』　棄挺
『門涼み』　眞垣庵

◇第239号（明治3
『烟草の競争』　三
『出世の島臺』　桂
『旦那の羽織』　三
『関取二代鑑』(3)
『江戸の花纒の誉』
『吉原八景』(8)
『日蓮大士』(8)
『慷慨美人』(5)
『留守』　伽藍堂主

◇第240号（明治3
『竹に虎』　桂 文治
『鳴海絞』(1)　朝
『やつがしら』　三遊
『通夜の饒舌』　三
『慷慨美人』　松林
『吉原八景』(9)
『日蓮大士』(9)　田邊 南鶴＜講談＞
『江戸の花纒の誉』(3)　放牛舎 桃林（二代目）＜講談＞
『関取二代鑑』(5)　一立齋 文車＜講談＞

USBメモリでのご提供も可能です。　※詳しくは、お問い合わせください。

お問い合わせは…　**日外アソシエーツ　営業本部**　TEL.03-3763-5241(代)　FAX.03-3764-0845
〒143-8550 東京都大田区大森北1-23-8　http://www.nichigai.co.jp/

■貴店名	デジタル復刻版　百花園　〈岡田 則夫 監修〉 明治期落語・講談速記雑誌　全240号収録 価格（本体230,000円＋税） ISBN978-4-8169-8569-0　JAN192-0876-00000-5	セット
	■お名前 TEL.　（　　）　　FAX.　（　　）	

201401

明治22年～33年に刊行された全240号／21,400頁を
高画質デジタル画像で復刻

デジタル復刻版
百花園
明治期落語・講談速記雑誌　全240号収録

岡田 則夫 監修　DVD-ROM+B5判「百花園」解説・目次集（50頁）
価格（本体230,000円＋税）　ISBN978-4-8169-8569-0

全240号を3枚のDVDに収録！
「百花園」解説・目次集（B5判・50頁）付き

日外アソシエーツ

デジタル復刻版
百花園
明治期落語・講談速記雑誌
全240号収録

明治22年～33年に刊行された全240号／21,400頁を高画質デジタル画像で復刻

明治期の落語・講談速記雑誌「百花園」をデジタル画像で復刻

① 現在入手困難な落語・速記雑誌の代表的存在「百花園」をデジタル画像で復刻しました。

② 当時の舌耕文芸の記録資料として、また録音資料がない時代（SP盤レコード誕生以前）の話しことばを研究するための貴重な資料です。

③ 明治22年～ 33年までの間に刊行された「百花園」全240号（計21,400頁）をデジタルで復刻し、デジタル画像データとしてDVDに収録。

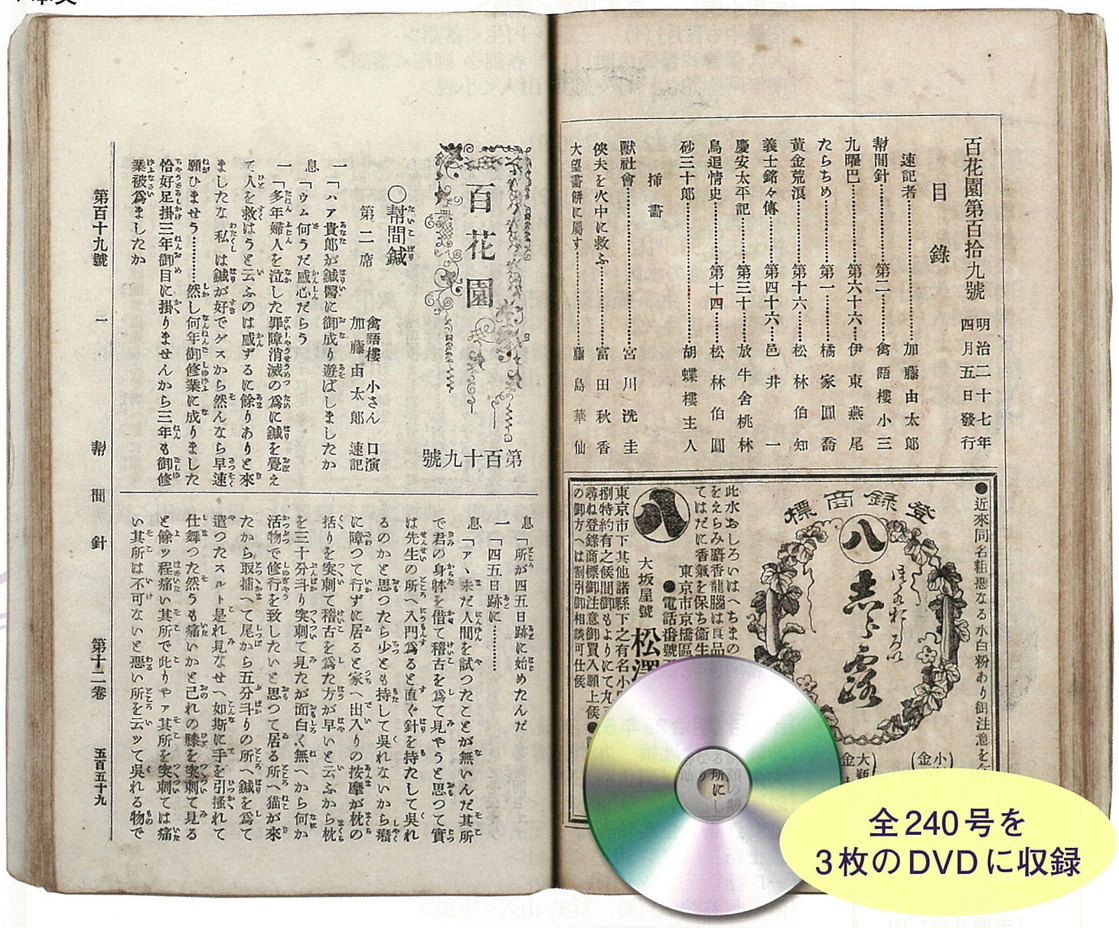
④ 演者、演目から該当ページにジャンプする検索機能付き。高画質なので、文字・ルビ等も拡大して見ることが可能。

⑤「百花園」解説・目次集：岡田則夫解説「百花園とは」（B5判・50頁）、全240号の目次細目とを同梱。

収録演目の例

「穴蔵の泥棒」三遊亭円遊／「磯の白浪」土橋亭りう馬／「入れ髪」古今亭今輔／「牛の嫁入り」三遊亭円遊 ／「厩焼失」三遊亭遊三／「英国の落語」英人ブラック／「恵方詣」三遊亭円遊／「王子の幇間」三遊亭円遊／「阿七」三遊亭円遊／「お節徳三郎」三遊亭新朝／「お節徳三郎連理の梅技」春風亭柳枝／「おふみ」三遊亭円遊／「お祭佐七」禽語楼小さん／「角兵衛の婚礼」三遊亭円遊／「かつぎや五兵衛」禽語楼小さん／「巌流島」三遊亭円生／「工風の医者」三遊亭円遊／「子別れ」春風亭柳枝／「締込」三遊亭円生／「樟脳玉」三遊亭円遊／「樟脳玉」古今亭今輔／「素人洋食」三遊亭円遊／「嵩谷」禽語楼小さん／「ズッコケ」三遊亭円遊　…など

▼本文



全240号を
3枚のDVDに収録

「百花園」とは――

・明治期に発行され、1万5千部もの発行部数を誇った“落語・講談速記雑誌”です。

明治期において、落語や講談は庶民の娯楽でした。その毎回の講演を速記者が書写し、講座で聞くのと同じ調子の言文一致で活字化され出版したものが“落語・講談速記雑誌”といわれるものです。明治17年に刊行された『怪談牡丹燈籠』（三遊亭円朝）を第一号として、落語・講談速記雑誌は当時各社から続々出版されました。

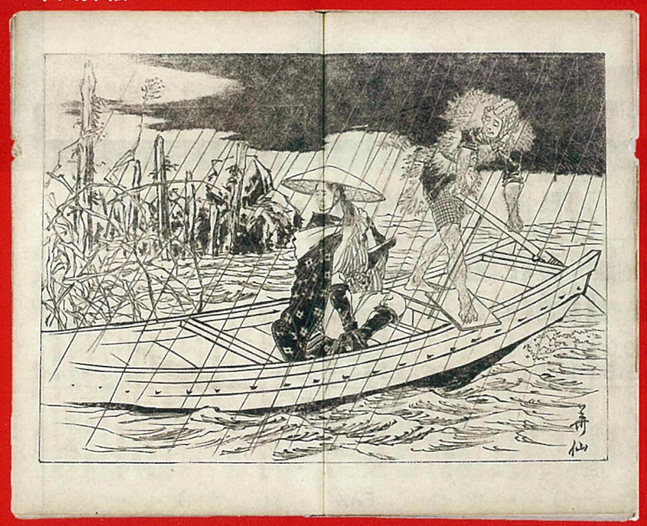
・落語・講談においての人気者を収録しており、当時の舌耕文芸の全貌が見渡せます。

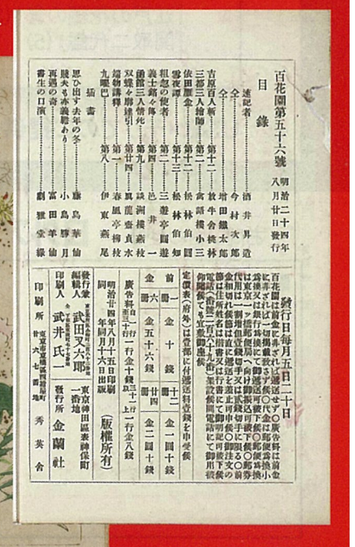
・明治期の話芸、および江戸ことばの貴重な資料として研究に役立ちます。

・全240号／ 21,400頁で構成。

「百花園」の原本は、国立国会図書館で全240号中103号、早稲田大学演劇博物館で192号を所蔵しています。

▼本文挿絵



▼表紙

目次▶